

Hop Step Jump

6

初任者研修第 7・8 回

小学校 授業づくり③④

アンケートの感想から

8 月 19 日は、大教大附属池田小学校を会場に 1 日にわたって授業づくり研修が行われました。初任の先生方は、事前の希望により、理科(3 年)、社会(4 年)、外国語(6 年)から 2 教科、体育(5 年)、家庭(6 年)、音楽(2 年)から 1 教科、1 人につき 3 教科の模擬授業と研究協議に参加しました。教師自身が『学習者』として学び続けることの大切さを、痛感した 1 日でもありました。まず目立つ感想は…

こんなにも楽しい理科があるんだ！！と心から思う時間でした。実物であること、個人の時間→交流の流れがくみこまれていることが楽しく学習できた理由かなと感じました。

45 分休む間もなく楽しみながら学ぶことができました。バリエーションが豊かで、先生の笑顔も素敵でした。2 年生を担当しているので、ぜひ同じ内容で授業をしてみたいです。

いつもは授業者のみなさんですが、今日は児童役。子どものように授業に引きこまれ、学習への意欲や好奇心が大いに刺激されたようです。子どもが夢中になる仕掛けがたくさんありました。そんな授業、多くの先生が事前の準備についても感想に書いておられます。

かまえるーのぞむーひらくーふかめるーふりかえる の流れが授業を受ける立場としてとてもスムーズに感じられて良かったです。資料・教材をしっかり準備することが大事だと感じました。

1 つひとつの活動が、リズムよく、そして何度も繰り返して行われたので、楽しく、効率よく、学びました。本当にリズムが良かったので、先生は準備を大事にしていかなければと改めて思いました。

学習過程「かまえるーのぞむーひらくーふかめるーふりかえる」は附属小中の授業スタンダードと言えるでしょうか。大阪授業スタンダードの「出合うー結び付けるー向き合うーつなげるー振り返る」にあたるものです。

やはり事前の準備が必要なんだと改めて思いました。今日の授業のように前に資料を貼ることで、全員が同じ所を見る事ができるので、教科書を見させるよりは、掲示して行う方が良いのかなと改めて感じました。授業で使うことがなくても、色々な知識を持っておくことが授業に臨むうえで必要なんだと分かりました。とりあえず知識として知っておくことが大事！！

テンポが良かったです。子どもたちがお互いに話し合う時間を持つことで、学ぶことに主体的になり、授業への興味が深まると感じました。教材準備の工夫もたくさん見られました。教師自身が、学習内容に興味を持ち、日常の中で素材を探すということが大事だとも思いました。

先生自身が学習者であり続けること、学ぶことの楽しさを子どもたちに身をもって伝えることは、教師のもっとも大切な部分かもしれません。授業中の声かけが子どもたちの意欲をさらに引き出します。

授業を受けて、自分自身夢中になって取り組みました。夢中になったポイントとして、先生の声の掛け方、発問の仕方がとても重要だなと改めて感じました。また、答がきまっている発問と、広がっていく発問を使い分けることも大切だと思いました。

「表現運動」という言葉をきくと、苦手だなと思わず思ってしまう。しかし、今日の体験を通して、人と人との距離であったり、考える(協力して)活動を実感し、私自身が照れを捨てて子どもの前で見せていける存在にならなければいけないと感じました。音に合わせてリズムに合わせてを身体と心で楽しめる 45 分をわたしもつくっていきたいです。

最後に頼もしい一言。

英語のレベルの高さに驚いた。中途半端は嫌なので、発音をしっかり練習しようと思う。ただテンションを高くしてやるのではないということがわかった。学校全体を引っ張っていきたい。